

平成22年度 予算の概要

一般会計予算を 4日間集中審議!

今定例会に、平成22年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて328億4437万5千円が提出され、一般会計予算審議は予算審査特別委員会で4日間、特別会計予算審議は建設環境委員会及び市民厚生委員会各1日間行われ、通算6日間にわたり慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

政権交代による影響は

問 政権交代による影響をどのように感じているか伺いたい。

答 肌で感じたという意味では、国の予算がなかなか定まらず、思うように働きかけができなかったという感想を持っているが、現在の我が市の状況を詳しくお話し、お願いしてきたのが実態である。

女性特有がん検診の見込みは

問 女性特有のがん検診は昨年の2分の1を計上したとのことだが、対象人数はどの程度を見込んでこの数字になったかを伺いたい。

答 子宮がん検診は50%の975人、乳がん検診は50%の991人が対象となっている。

住基カードの内容及び利用拡大について

問 夢のカードとして

平成22年度の一般会計予算は213億3500万円で、前年度に比べて4.8%の増加となりました。大規模事業（牛浜駅自由通路整備事業・福生野球場整備事業・福生病院組合建設費負担金・子ども手当支給事業費・住民情報システム更新事業・保育所建設費補助金）を除いた比較では、0.7%の増額となっています。

特別会計予算は115億937万5千円で、前年度に比べて3.1%の減少となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は328億4437万5千円で、前年度に比べて1.9%の増加となりました。

出てきた住基カードだが、利用や使い勝手がなかなか思わしくない。利用の拡大とその内容について伺いたい。

答 21年度では4月から本年1月末まで487枚発行し、累計では2779枚だが、Eタックスでの税の申告等々で、このところさらに増えると思う。また、利用拡大について、国では住基カードを利用した住民票写し等のコンビニ交付を既に試験的に3団体で実施し、さらに増やす計画だが、システム改良に費用もかかることから、当市での導入は様子を見させていきたい。

自動多言語翻訳システムについて

問 自動多言語翻訳システムは英語でフィリピンの方をカバーできるものなのか。また、一つの言語を加えるたびにお金がかかるものなのか。窓口へ来られる外国人への活用は考えられないか。

答 当システムは、英語、中国語、韓国語が基本コースとして月額1万8900円程度、全言語コースの欧州5カ国語が入ると月額3万1500円となる。タガログ語の自動翻訳は難しい。また、このシステムはインターネットを介して業者のサーバーにインストールさ

介護予防フォローアップ事業の内容は

問 介護予防フォローアップ事業として筋力向上のための転倒予防、QOLの向上ということだが、新規事業ということの内容を伺いたい。

答 平成22年度からの新規事業で、東京都の高齢社会対策区市町村包括補助事業、補助率10分の10の先駆的事业、モデル事業として他市に先駆けて実施するもので、筋力低下や転倒による骨折で介護状態になる恐れのある高齢者のために筋力向上トレーニングを市内指定接骨院において実施し、65歳以上の高齢者に筋力や関節などの機能低下予防のためのストレッチ、柔道整復師による関節可動域の拡大を週1回、12週を限度としている。

福生病院の運営負担金について

問 福生病院の運営費負担金、建設費負担金は病院がある限り続く市にとつての大きなテーマであり、運営費については減らしていくことを考えなければならぬ課題だが、建設費負担金のピークと負担割合の変化を伺いたい。

企画はどのように決められていくのか。また、市制施行40周年と絡めての内容があれば伺いたい。

答 企画は環境フェスティバル実行委員会という市民の会で決めており、今年度からフード部会など2部会を新たに設け、内容をより充実していく。市制40周年記念として予算が増額されており、その企画内容は、著名人をお呼びしてのトークショーを検討している。

環境フェスティバルの考え方は

問 8回目となる環境フェスティバルは、いろいろな企画が盛り込まれ、最初のころから見てもおもしろくなっているが、

企画はどのように決められていくのか。また、市制施行40周年と絡めての内容があれば伺いたい。

答 企画は環境フェスティバル実行委員会という市民の会で決めており、今年度からフード部会など2部会を新たに設け、内容をより充実していく。市制40周年記念として予算が増額されており、その企画内容は、著名人をお呼びしてのトークショーを検討している。

電波障害補償料について

問 市営住宅の電波障害補償料は何か伺いたい。また、現在建築中の東京スカイツリー634メートルが完成したら、この

地域に電波障害は起こらないのかどうか。

答 地上デジタル放送移行に伴う調査の結果、第二市営住宅A、B棟の影響で、デジタル放送でも受信障害が残る28世帯への補償料で、1件当たり2万1千円、計58万8千円となる。また、スカイツリーに電波が切り替わっても、福生市の場合、距離があるので東京タワーとアンテナの角度があまり変わらないため、多くのお宅ではほとんど変化がないと予測しているが、今後、大幅に改善されるようであれば見直ししていく。

理科支援員配置事業費の削減について

問 理科支援員配置事業の購入を教育振興費の消耗品費で計上している。

地域に電波障害は起こらないのかどうか。

答 地上デジタル放送移行に伴う調査の結果、第二市営住宅A、B棟の影響で、デジタル放送でも受信障害が残る28世帯への補償料で、1件当たり2万1千円、計58万8千円となる。また、スカイツリーに電波が切り替わっても、福生市の場合、距離があるので東京タワーとアンテナの角度があまり変わらないため、多くのお宅ではほとんど変化がないと予測しているが、今後、大幅に改善されるようであれば見直ししていく。



▲平成22年度一般会計予算を起立多数で可決

平成22年度 各会計予算規模 (人口 22.1.1現在 60,549人)

会計区分	22年度予算	前年度比%	市民1人当たりの額
一般会計	213億3,500万円	4.8	35万2,359円
特別会計			
国民健康保険特別会計	60億7,414万5千円	△2.6	10万3,181円
老人保健医療特別会計	559万7千円	△21.8	92円
介護保険特別会計	29億7,801万7千円	3.5	4万9,184円
後期高齢者医療特別会計	8億3,174万6千円	7.9	1万3,737円
下水道事業会計	16億1,987万円	3.7	2万6,753円
総合計	328億4,437万5千円	3.3	54万2,443円

※平成22年度から受託水道事業会計は、廃止となりました。

平成22年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合

